



いそざき哲史参議院議員 5/23経済産業委員会にて

・雇用維持に資する

「失われた30年」への経済対策を問う！

・従業員2000人以下の中堅・中小企業に向けた  
成長支援施策 「産業競争力強化法改正案」の議論を実施！

第213回  
通常国会

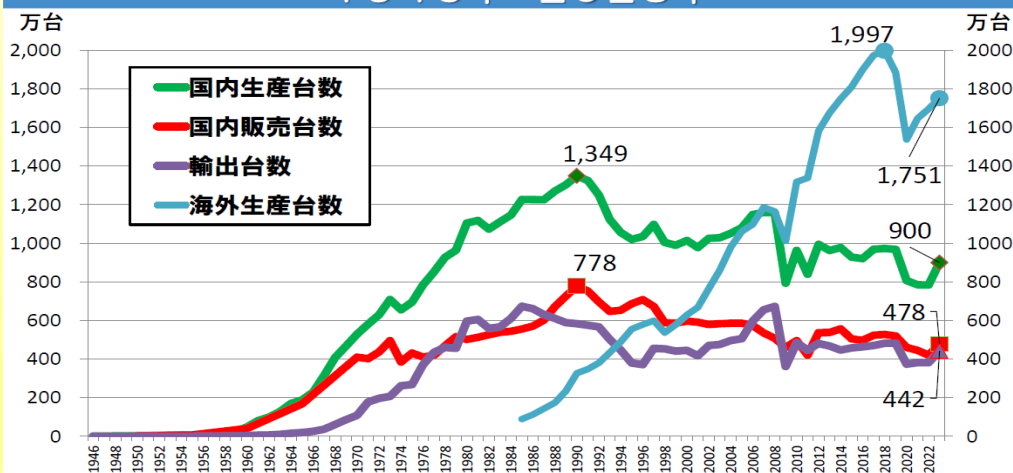


- 日本が「失われた30年」と言われるデフレ経済を脱出できなかった理由は？  
新たな価値創造に向けた取り組み(投資)が不十分になってしまった理由は？
- 80年代は日米貿易摩擦により輸出台数が頭打ち。90年代以降も、中国のグローバルマーケットに参入等による生産競争が激化。一方、日本企業は1,349万台を生産する能力を抱えており、雇用維持をするために、低賃金な新興国とのコスト競争が不可避となった。
- 過去の歴史を振り返ると、海外との関係性によりコスト競争に巻き込まれるなど、最終的に国内の生産/開発体制(雇用)に少なからず影響を及ぼす可能性がある。このことを念頭に海外との様々な交渉を進めることを強くお願いしたい！



いそざき 哲史  
参議院議員

日本の自動車産業の発展過程 (台数ベース)  
1946年～2023年



出典：経済産業委員会調査室及び国立国会図書館の調査に基づき、磯崎事務所作成。

原典：下記HPをご確認ください

<https://www.jama.or.jp/library/publish/index.html#carindustry>

<https://jamaserv.jama.or.jp/newdb/>

[https://www.jama.or.jp/statistics/foreign\\_prdct/index.html](https://www.jama.or.jp/statistics/foreign_prdct/index.html)

【齋藤経済産業大臣】の答弁は  
動画をご視聴ください。



齋藤  
経済産業大臣



いそざき 哲史  
参議院議員

- 新たな価値創造に向けた取り組みとして、具体的に誰が何をするのか？ また、取り組む際に肝となるのは？
- 海外と伍していくために、**日本が苦手な「マーケティング分野」や「行動経済学」の専門家となる人材をしっかりと育てなければいけない！**

【齊藤経済産業大臣】の答弁は  
動画をご視聴ください。



齋藤経済産業大臣

「産業競争力強化法」とは??

- **国内投資拡大に繋がるように、企業(特に中堅・中小)に、税制優遇や補助金等で支援をしていくための法律だよ！**

…戦略分野への投資/生産に対する大規模かつ長期の優遇税制、日本で研究開発がしやすくなるような税制措置、イノベーション及び新陳代謝の促進に向けた中堅企業やスタートアップへの集中支援……等

- たくさんの支援策があるので、詳細が知りたい人は下記URL/QRコードから見てみてね。

<https://www.meti.go.jp/press/2023/02/20240216001/20240216001.html>



- 最終的に実効性を高めるという意味では、**政労使の3者が同じ方向性や目的を共有し、それぞれの役割を全うする体制づくりが重要。** 政労使が果たすべき役割や期待することは？

【齊藤経済産業大臣】の答弁は  
動画をご視聴ください。

- 高度経済成長期においては、以下3つの原則を労使によって確認。

- ① **生産性の向上は、究極において雇用を拡大する**
- ② **労使がお互いの立場を尊重しながら協議する**
- ③ **生産性の向上の成果を、公正に分配する**

- 失われた30年は3番目が大きく欠落していたのではないか。  
現在、労使の関係において、「成果」を次にどのように生かすべきなのかという「ステークホルダーの考え方」が変化したかもしれないが、**いま一度この考え方を現環境下に合わせて、考え直しつつ、労使で取り組んでいくことが重要だと考える。**

